

フランスの近代詩と音楽

フランスの近代詩の変遷をたどりながら、これらがどのような音楽的昇華をたどったか、フランス歌曲のスペシャリスト・三林輝夫とともに考えてみませんか。

演奏曲目は、ベルリオーズ、グノー、フランク、フォーレ、ドビュッシー、デュパルク、ショーソン、サティ、プーランクなど。

講師：三林輝夫（東京芸術大学名誉教授）

日時 2011年10月19日（水）18:00～21:00

会場 西南コミュニティーセンター

（福岡市営地下鉄空港線「西新」駅3番出口より徒歩5分）

入場無料／事前申込不要

三林輝夫（さんばやしてるお／テノール）



新潟県出身。東京芸術大学音楽学部卒業、同大学専攻科修了。数多くのオペラ、オペレッタ、創作歌劇で活躍する他、わが国におけるフランス歌曲のスペシャリストとして高い評価を得ている。日本歌曲の演奏でも、その深い表現には定評がある。近年は二期会オペラ公演の音楽監督、研究会・研修会講師など活動の範囲は幅広い。現在、東京芸術大学名誉教授、（財）東京二期会理事・監事、二期会オペラ研修所所長。

助演

加来京子（ソプラノ）

福岡県小郡市出身。武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業後、二期会オペラ研究科にてオペラを学ぶ。リサイタル他、地域、小中学校、施設などでソロ活動を行い、後進の指導にも力を注ぐ。これまでに声楽を福島教晃・森敏孝に師事、フランス歌曲・日本歌曲を三林輝夫に師事。福岡市西区在住。

村上京子（ソプラノ）

活水中学・高等学校を経て、フェリス女学院短期大学を卒業。福岡を中心に、リサイタルや・ジョイントコンサートに出演する他、介護施設などで音楽療法を取り入れたボランティア活動や、難民支援活動と地雷撤去活動の支援を続けている。ドイツ歌曲を西内玲、フランス歌曲を三林輝夫に師事。麻生医療福祉専門学校非常勤講師。

山田力（ピアノ）

幼少より多方面の音楽に親しみ独学で学ぶ。武蔵野音楽大学に入学後、ミュンヘンとハンブルクで研鑽を積む。ソロをはじめアンサンブルにも力を入れ、特に声楽家からは絶大な信頼を得ている。2007年、福岡で開催したオールパツハリサイタルは好評を博し、宮崎・東京で追加公演を開催。現在山田音楽院を主宰。